

工業化：重厚長大  
 団塊→分に応じた夢実現(多数派)  
 社会的上昇のための競争(少数派)

情報化：軽薄短小→グローバル化：大競争時代  
 少産+ジュニア→序列づけ競争(多数派)  
 少子世代→落とされないための競争(全体)

ICT化：AI・サービス・6次産業  
 個人化→能力+個性重視、  
 自己実現+協働実現力+臨機応変力

図 1-1 学校基本調査：児童・生徒数の推移

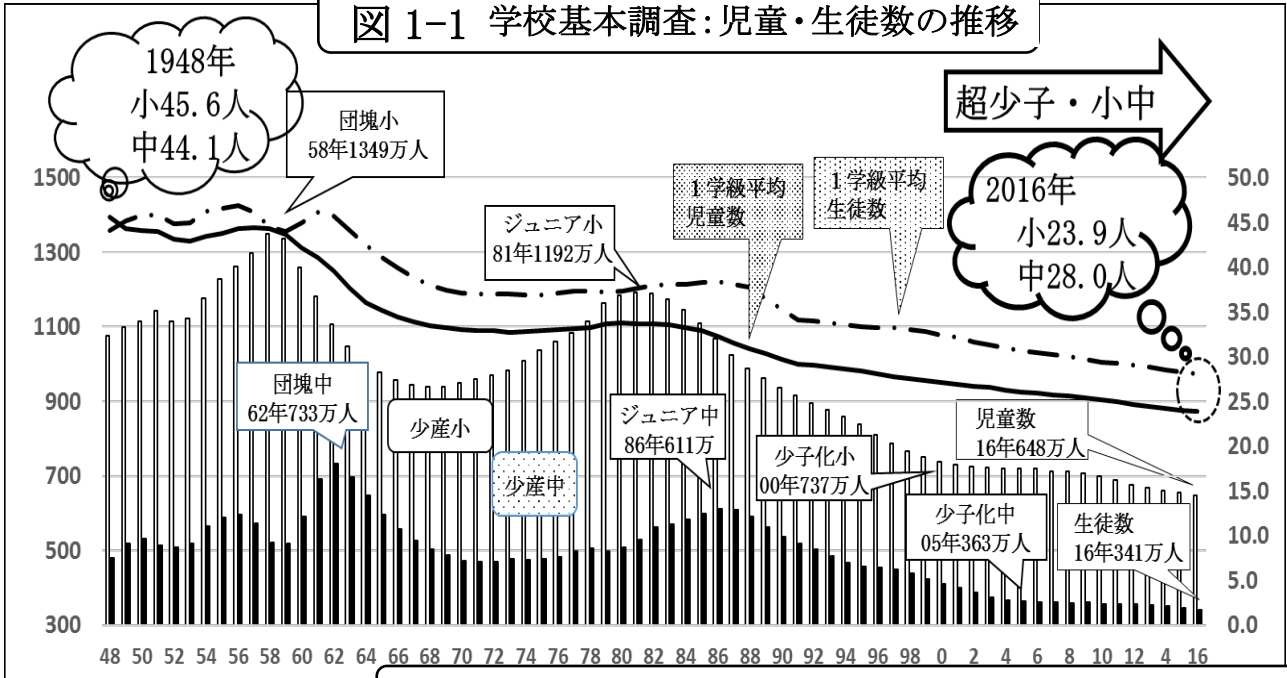
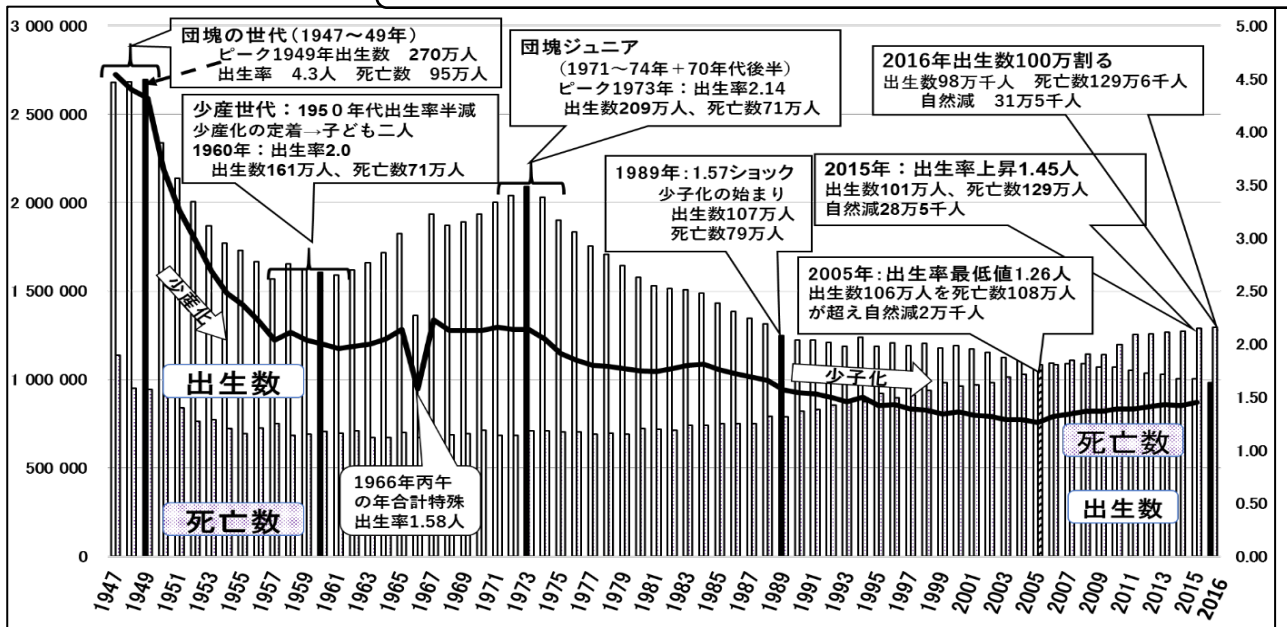


図 1-2 出生数と死亡数と合計特殊出生率の推移 1947年～2016年



	2015	2030	2045		2015	2030	2045
東京	5,860	5,567	3,847	沖縄	621	466	314
神奈川	3,625	2,904	1,575	秋田	225	45	-45
大阪	3,104	2,485	1,253	青森	371	134	-14
愛知	2,894	2,457	1,518	高知	165	86	24
福岡	1,781	1,327	811	島根	157	94	51

表 2-1 生産年齢人口と老年人口の差

図 2-3. 4. 5. のデータ。都市部の問題は生産年齢人口の減少と老年人口、特に単身・男性後期高齢期(団塊)の増加・長寿化が同時進行すること

下がる角度は同じ、都市は1.5人、  
小規模自治体は1人以下

自治体の大小問わず、75歳以上は下げ  
止まり。人生100年は団塊から?!

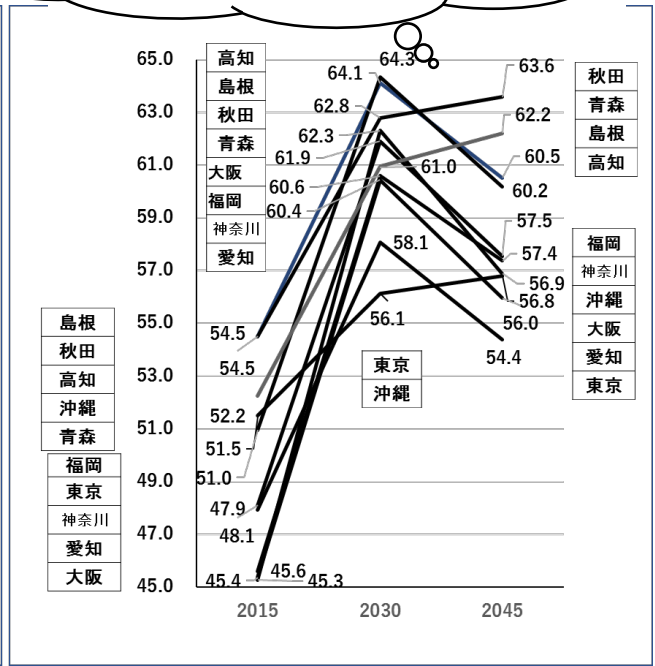
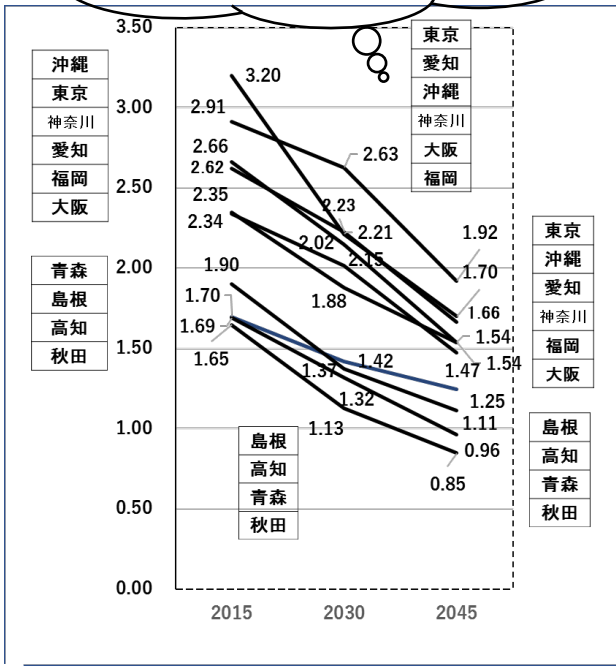


図 2-1 生産年齢人口と老年人口の比

図 2-2 老年人口内の後期高齢期の割合

増加  
問題の根は全て東京大都市圏は

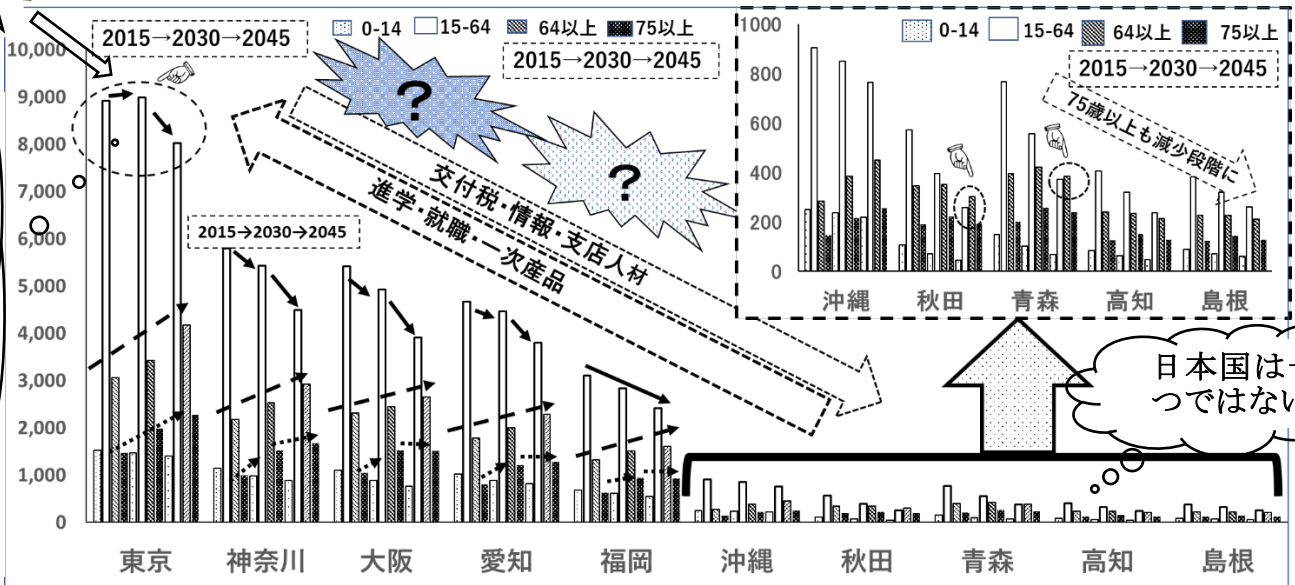


図 2-3 各都市の推計人口推移の比較

(右上) 図 2-4 地方都市の推計人口推移

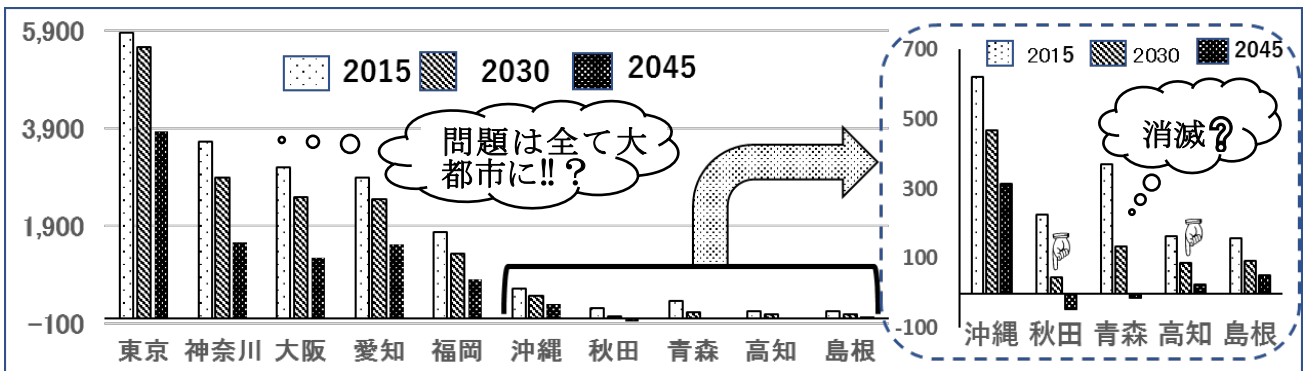


図 2-5 各都市の生産年齢人口と老年人口の差の推移

図 2-6 地方都市についての拡大図

(1000人)		年少	生産	老年	後期	生産/	後期/老	高齢	(1000人)		年少	生産	老年	後期	生産/	後期/老	高齢
		0-14	15-64	65以上	75以上	老年	年×100	化率			0-14	15-64	65以上	75以上	老年	年×100	化率
2015	東京	1,523	8,926	3,066	1,469	2.91	47.9	22.7	2045	東京	1,408	8,023	4,176	2,271	1.92	54.4	30.7
	沖縄	248	903	282	145	3.20	51.4	19.7		沖縄	218	762	448	255	1.70	56.9	31.4
	愛知	1,025	4,676	1,782	808	2.62	45.3	23.8		愛知	812	3,803	2,285	1,279	1.66	56.0	33.1
	神奈川	1,145	5,803	2,178	993	2.66	45.6	23.9		神奈川	891	4,498	2,923	1,677	1.54	57.4	35.2
	福岡	678	3,102	1,321	635	2.35	48.1	25.9		福岡	541	2,412	1,601	921	1.51	57.5	35.2
	大阪	1,098	5,423	2,319	1050	2.34	45.3	26.2		大阪	768	3,910	2,657	1,512	1.47	56.9	36.2
	島根	87	382	225	123	1.70	54.7	32.5		島根	59	260	209	127	1.24	60.8	39.5
	高知	84	405	240	125	1.69	52.1	30.2		高知	48	237	213	128	1.11	60.1	42.7
	青森	149	765	394	201	1.94	51.0	32.9		青森	67	371	385	240	0.96	62.3	46.8
	秋田	106	571	346	189	1.65	54.6	33.8		秋田	44	256	301	192	0.85	63.8	50.1
2030	東京	1,471	8,989	3,422	1,987	2.63	58.1	24.7	2030	島根	71	319	225	144	1.42	64.0	36.6
	沖縄	235	850	384	216	2.21	56.3	26.1		高知	62	319	233	150	1.37	64.4	37.9
	愛知	891	4,463	2,006	1,212	2.22	60.4	27.3		青森	100	555	421	256	1.32	60.8	39.1
	神奈川	977	5,430	2,526	1,531	2.15	60.6	28.3		秋田	69	395	350	220	1.13	62.9	43
	福岡	609	2,837	1,509	934	1.88	61.9	30.5									
	大阪	888	4,929	2,445	1,523	2.02	62.3	29.6									

表 3-1 秋田県、東京都、沖縄県の年少・老年人口指数の数値の比較

教育の市場化

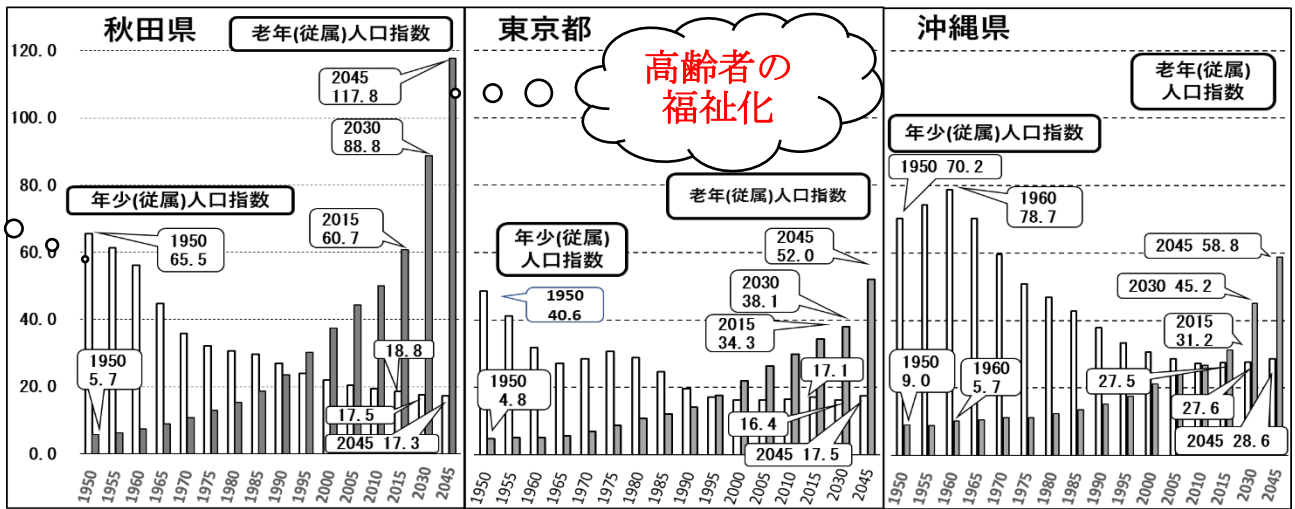
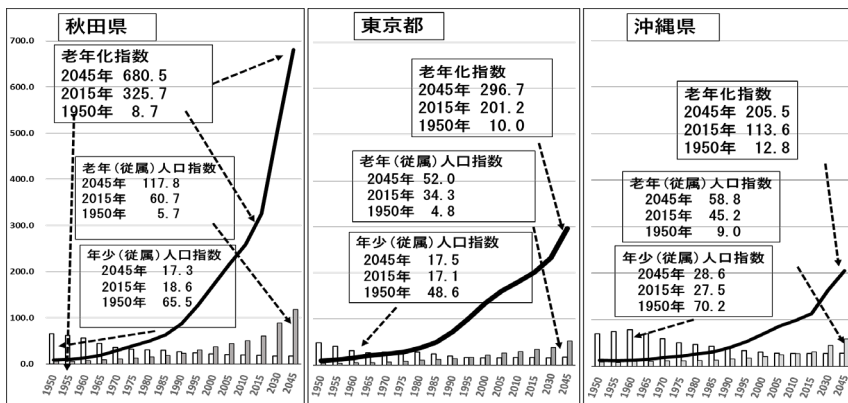


図 3-1 秋田県、東京都、沖縄県の年少(従属)の推移の比較

図 3-2 ~老年(従属)指数~



◇年少(従属)人口指数 = (0~14歳人口)/(15~64歳人口)×100  
 ◇老年(従属)人口指数 = (65歳以上人口)/(15~64歳人口)×100  
 ◇従属人口指数 = (0~14歳人口+65歳以上人口)/(15~64歳人口)×100  
 ◇老年化指数 = (65歳以上人口)/(0~14歳人口)×100  
 ☆年少人口指数の推移→市場化  
 →少産・少子化→高付加価値化  
 →ハイブリッド・チャイルド→格差→?  
 ☆老年人口指数→福祉化→?

		1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2030	2045
秋田	年少人口指数	65.5	61.4	56.1	44.8	35.8	32.2	30.6	29.6	26.9	24.0	21.9	20.5	19.4	18.6	17.5	17.3
	老年人口指数	5.7	6.3	7.5	8.9	10.7	12.9	15.3	18.7	23.5	30.2	37.5	44.4	50.1	60.7	88.8	117.8
	老年化指数	8.7	10.3	13.4	19.8	29.9	39.9	50.2	63.1	87.2	125.9	171.5	216.3	258.7	325.7	506.5	680.5
東京	年少人口指数	48.6	41.2	31.8	27.1	28.5	30.7	28.8	24.6	19.7	17.2	16.4	16.4	16.5	17.1	16.4	17.5
	老年人口指数	4.8	5.1	5.2	5.7	7.0	8.8	10.8	12.2	14.2	17.6	22.0	26.4	29.8	34.3	38.1	52.0
	老年化指数	10.0	12.4	16.3	21.2	24.6	28.5	37.4	49.7	72.0	102.1	134.5	161.1	180.3	201.2	232.6	296.7
沖縄	年少人口指数	70.2	74.3	78.7	70.3	59.5	50.9	46.9	42.8	37.8	33.4	30.7	28.6	27.3	27.5	27.6	28.6
	老年人口指数	9.0	8.9	10.3	10.6	11.3	11.3	12.4	13.5	15.3	17.6	21.2	24.6	26.8	31.2	45.2	58.8
	老年化指数	12.8	12.0	13.1	15.1	18.9	22.2	26.4	31.6	40.4	52.8	69.1	86.1	98.4	113.6	163.5	205.5

表 3-2 秋田県、東京都、沖縄県の年少(従属)・老年(従属)・老年化人口指数の推移



図 4-1、2 ◇国語の指導として、児童・生徒が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行っている、と答えた学校の割合

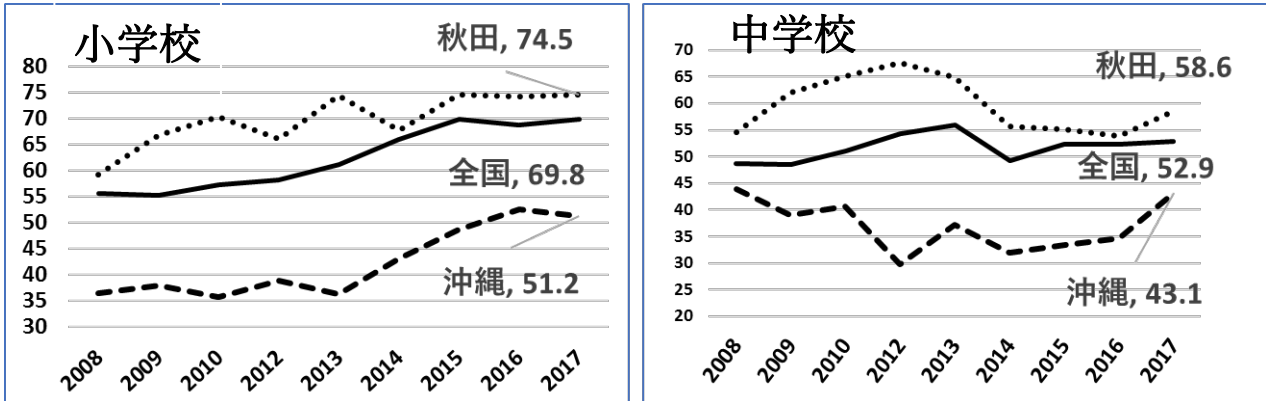


図 4-5 全国学力調査が示唆する教師と学校の教育課程と学習過程の分析モデル

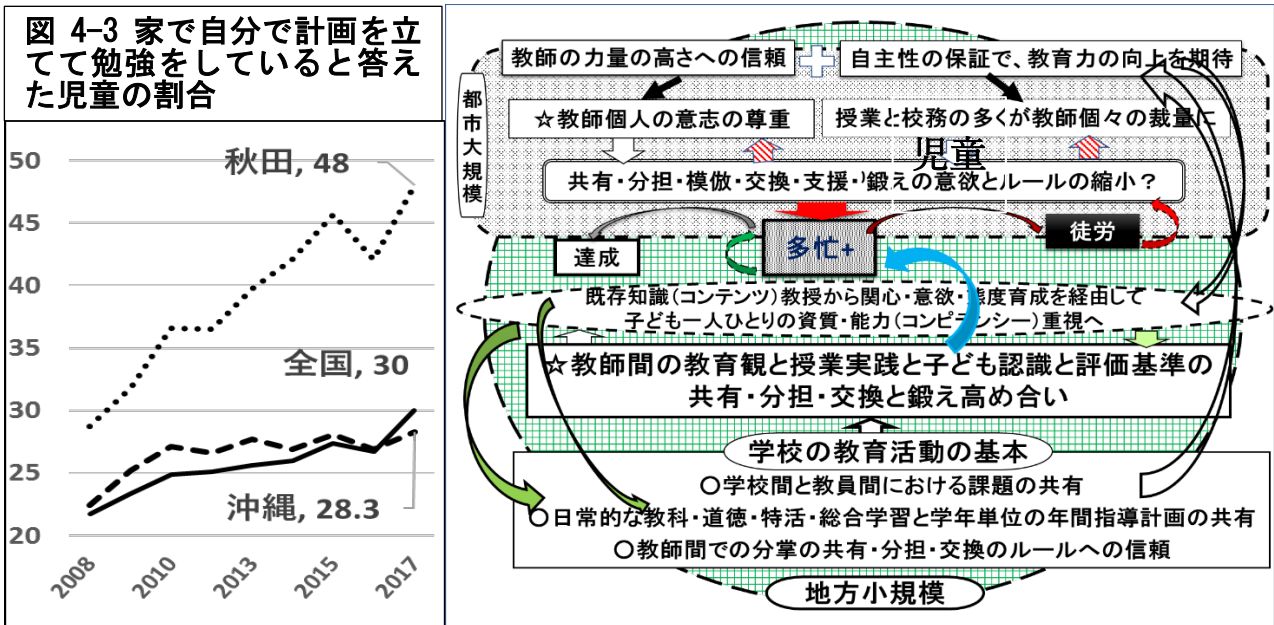
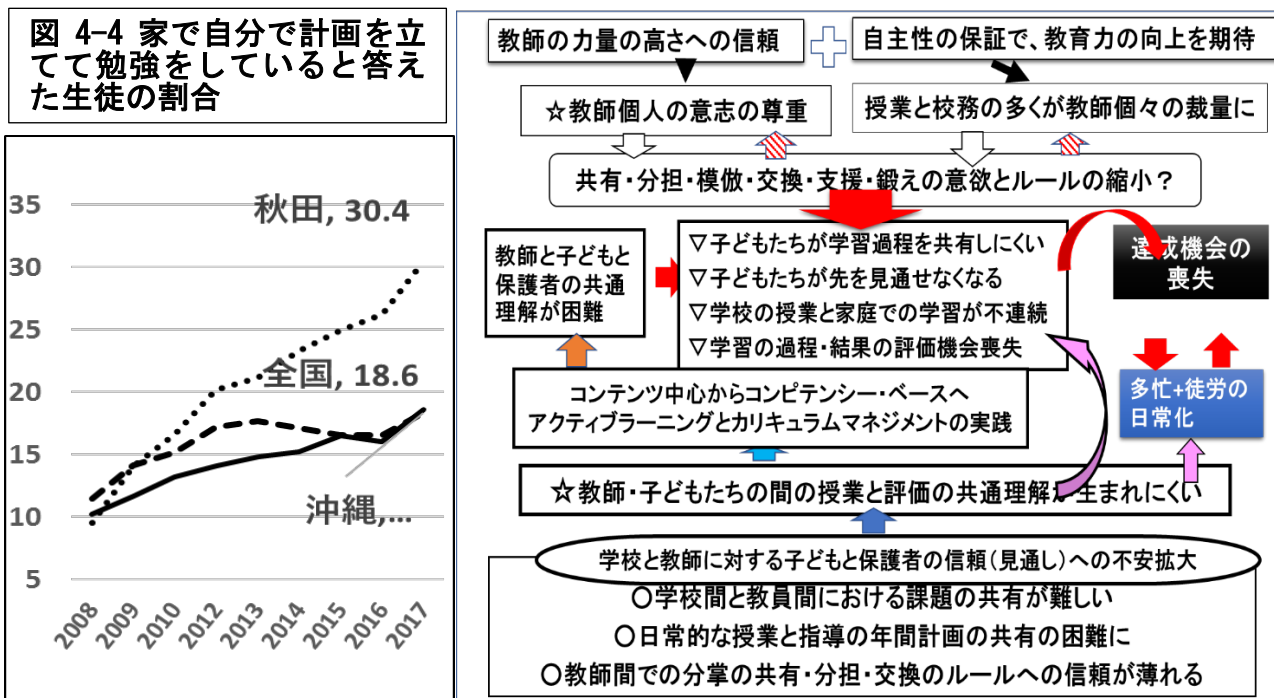


図 4-6 全国学力調査が示唆する教師と子どもたちとの授業過程の分析モデル



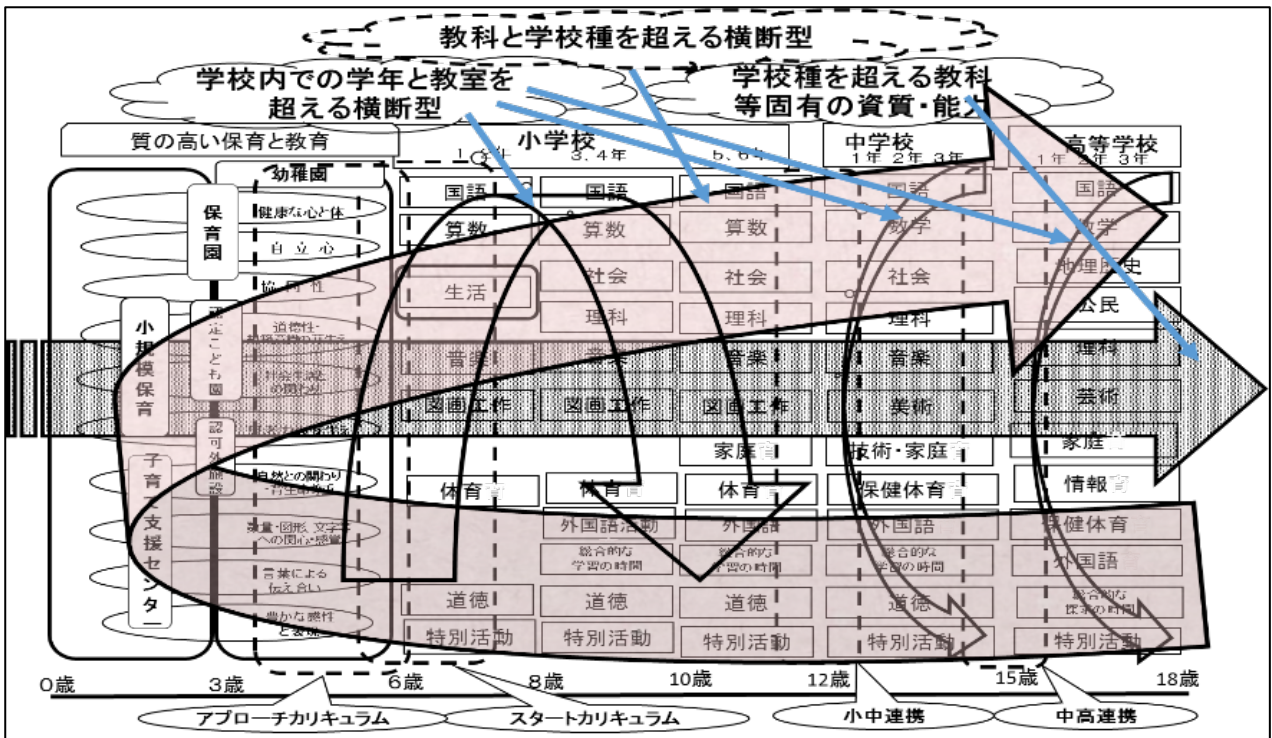


図 5-1 教科等間・学校種間・学年間・教室間横断的な視点のモデル図

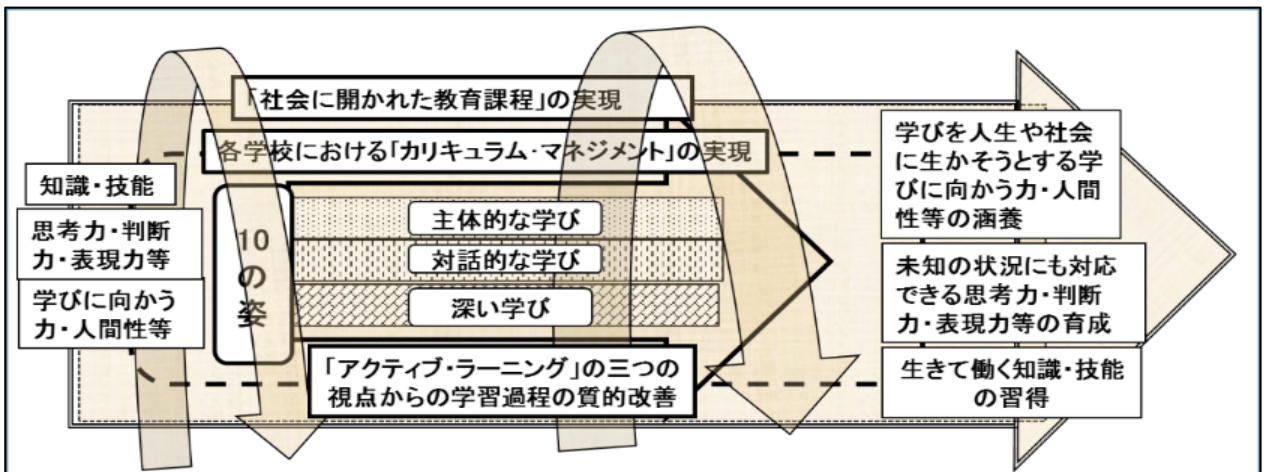


図 5-2 知識・技能等を資質・能力に転換する過程のモデル図

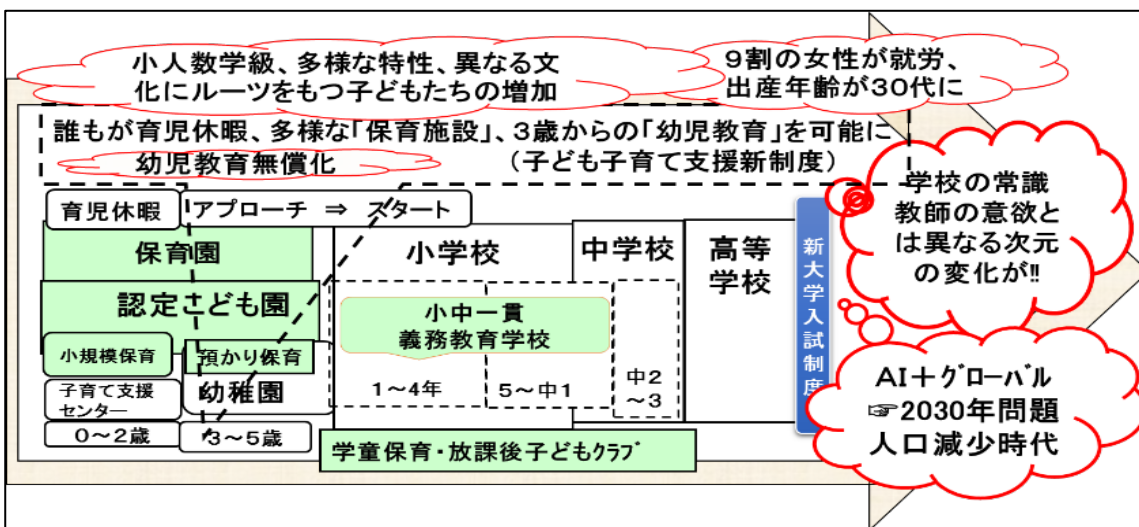


図 5-3 人口減少時代の幼児教育・学校教育制度改編・改変への社会的圧力のモデル図